

## 松江市で「雪崩災害防止セミナー」を開催しました

雪氷チーム

平成23年12月6日に、鳥根県松江市で「雪崩災害防止セミナー」を開催しました(写真-1)。

このセミナーは近年の雪崩災害の特徴と対策や最新の研究状況等について理解を深めてもらうことを目的に寒地土木研究所雪氷チームとつくば中央研究所雪崩・地すべり研究センターが共同で企画したものです。

5回目の開催となる本セミナーは、平成22年12月から平成23年1月にかけて山陰地方で集中的な豪雪が発生したこともあり、西日本で初めての開催となりました。本セミナーの概要は表-1のとおりです。今回のセミナーには、国や県、建設業及びコンサルタントから120名のご参加をいただきました。

はじめに、特定非営利活動法人 氷河・雪氷圏環境研究舎理事長の成瀬氏から講演をいただきました。この中では昨冬、鳥取市では11年ぶりの大雪となり、また米子市では観測史上最高の積雪であったことや豪雪による交通障害、着雪による送電用鉄塔の倒壊などの被害状況について、写真を交えて解説されました。また雪崩遭遇者へのアンケート調査から、雪崩による埋没者の生存率について埋没後30分以内に救助することが大切であるとの説明をいただきました。

土木研究所からの話題提供として、雪氷チーム上席研究員の松澤から雪崩の分類とその分類毎の雪崩発生機構の特徴について、雪崩の映像を交えて説明しました。また気象庁から提供される様々な気象情報を活用

することにより、雪崩災害防止の参考になることを報告しました。

雪崩・地すべり研究センター専門研究員の池田からは、秋田、長野、山形及び新潟で発生した7件の雪崩について被災状況や雪崩対策施設の設置状況について説明し、地域における雪崩対策の課題を報告しました。

最後に雪氷チーム研究員の松下から道路における雪崩について解説し、雪崩の発生区、走路、堆積区それぞれに適用する雪崩対策施設の種類や課題、留意点を説明するとともに、施設の施工後も無雪期や積雪期にも点検を行うなど維持管理を含めた雪崩対策も必要であることを報告しました。

雪氷チームでは、雪崩・地すべり研究センターと連携して、研究成果の普及を目的とした、技術の紹介のためのセミナーおよび講習会を今後も積極的に開催していきたいと考えています。

本セミナーの開催にあたり御協力をいただいた鳥根県庁はじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

(文責：坂瀬 修)

表-1 「雪崩災害防止セミナー」の概要

開催日時：	平成23年12月6日(火) 13:35~16:00
開催場所：	くにびきメッセ(松江市学園南1-2-1)
開催機関：	(主催)(独)土木研究所 (共催)鳥根県 (後援)国土交通省 中国地方整備局
講 演	
	「2010/11年山陰地方の豪雪と雪崩」 (特非)氷河・雪氷圏環境研究舎 理事長 成瀬廉二氏
話題提供	
	「雪崩に関する基礎知識」 寒地土木研究所 雪氷チーム 上席研究員 松澤勝
	「信越地方を中心とした最近の雪崩事例について」 雪崩・地すべり研究センター 専門研究員 池田慎二
	「最近の道路雪崩対策の課題と研究への取り組み」 寒地土木研究所 雪氷チーム 研究員 松下拓樹



写真-1 雪崩災害防止セミナーの開催状況